保証について

1．保証について
この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目
・ランプが切れていませんか。
・正常に点灯しますか。
・スイッチは正常に切り替りますか。
・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・可動部は異常なく動作しますか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃 器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木･竹･籐 布･和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2．異常時の処置
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。
CSセンター　(0570)003-937(ナビダイヤル　全国共通)
受付時間（月～金曜）9：00～17：00土･日･祝祭日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

DAIKO 大光電機株式会社　施工・取扱説明書　保存用

品　番	DBF-2924LT･DBF-2924NT

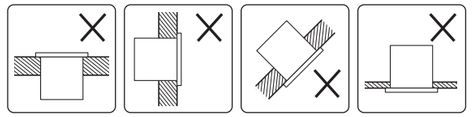
このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ
●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店･工事店にご依頼ください。
●施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

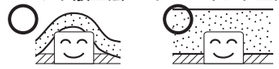
⚠ 警告
取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

厳守
この器具は天井埋込専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災･落下の原因となります。

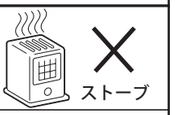


特殊な断熱･遮音･防音施工された天井には使用しないでください。
過熱して火災の原因となります。

(一社)日本照明工業会　SB･SGI･SG形適合品
マット敷工法　ブローイング工法



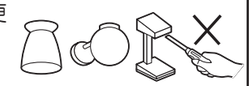
禁止
器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災･感電･落下の原因となります。



禁止
器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災･感電･落下の原因となります。

禁止
屋内配線の電源･ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かくが、造営材･ダクトに直接触れないように施工してください。施工に不備があると、火災･感電の原因となります。

分解禁止
器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災･感電･落下･転倒等の原因となります。



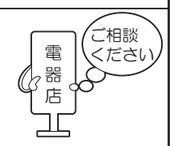
厳守
電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災･感電の原因となります。

厳守
器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災･感電･落下の原因となります。

アース工事
アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

禁止
周囲温度5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

厳守
煙･臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災･感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。



⚠ 注意
取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守
電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

注意
●照明器具には寿命があります。
●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検･交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

大光電機株式会社
〒541－0043　大阪市中央区高麗橋3－2－7　高麗橋ビル6F

施工説明 | 工事店様へ

●施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は必ずお客様にお渡しください。

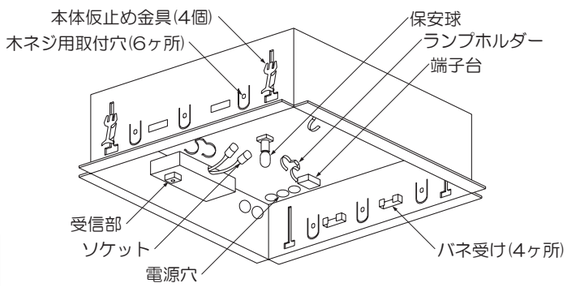
仕様

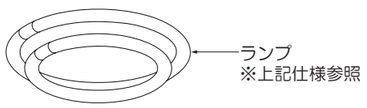
●屋内天井埋込専用器具です。
●器具にはアクリルと木を使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
●断熱施工用SB形器具です。
●木ネジ(6本)取付専用器具です。
●インバータ(50Hz/60Hz兼用)器具です。
●サーマルプロテクタ付です。
●プルレススイッチ付です。
●55°までの傾斜天井に取付可能です。
●適合ランプ以外の使用はできません。
●別売のタイマー付リモコン(DP-34223)・タイマー付液晶リモコン(DP-35354)使用可能です。

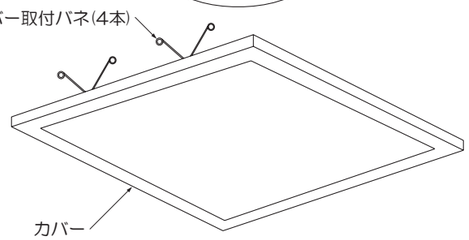
品番	DBF-2924LT	DBF-2924NT
定格電圧	交流　100V	
周波数	50/60Hz兼用	
消費電力 ※待機時　1W以下を要します。	５５W	
入力電流	０．５６Ａ	
力率	高力率	
適合ランプ	FHC丸形蛍光灯　電球色 FHC27EL×1灯＋FHC20EL×1灯 GZ10q	FHC丸形蛍光灯　昼白色 FHC27EN×1灯＋FHC20EN×1灯 GZ10q
適合保安球	ナツメ球　5W　E12	
器具重量	約3.7kg	
電源接続	端子台(送り容量最大10A)	

各部の名称

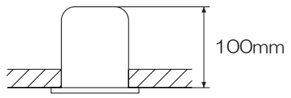
※下図は、簡略した図です。



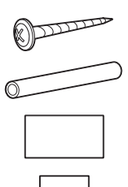




埋込必要高

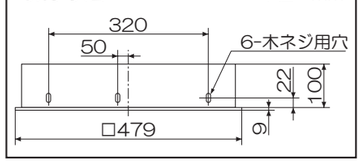


付属部品



木ネジ座付(6本)
保護チューブ(4本)
目隠しシール大(4枚)
目隠しシール小(2枚)

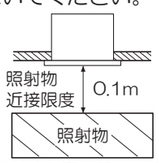
取付寸法　単位：mm



⚠ 警告

この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。
水ぬれ禁止
火災・感電の原因となります。

器具の真下0.1m以内に家具などの可燃物を近づけないでください。



(家具・ドア・家電等の可燃物)

照射物の火災・変色のおそれがあります。

⚠ 警告

空調や外気等、風の影響を受ける場所では使用しないでください。
不完全点灯の原因となります。

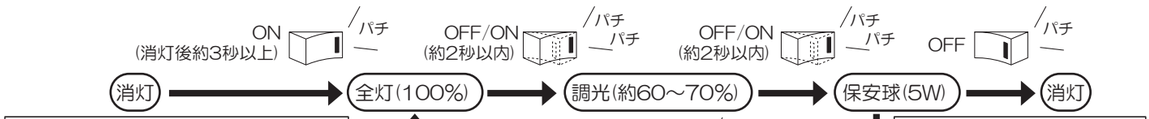
調光器との併用はできません。

取扱説明 | お客様へ

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

●点灯の切り替えは、壁スイッチで操作してください。下図の順に切り替わります。



注)壁スイッチをOFFにしてから約3秒以上経過した後、再度ONすると全灯(100%)に戻ります。

別売リモコンの操作方法は、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

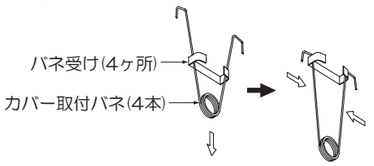
ランプ交換方法

⚠ 警告　必ず電源を切り、器具とランプが冷めてから交換してください。感電・やけどの原因となります。

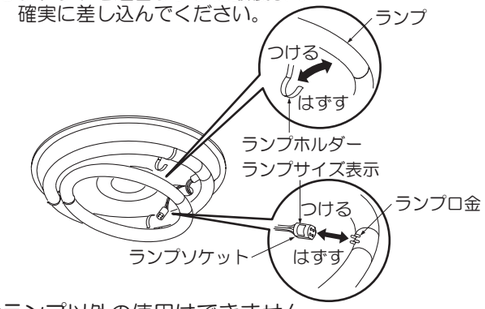
●ランプが黒化したり、ちらつきだしたら寿命です。すみやかに下記の手順で交換してください。

1.カバーを取外す → 2.ランプを交換する → 3.カバーを取付ける

●カバーを引き下げて、カバー取付バネ(4本)を縮めて取外してください。



●ランプは小さい方から順にセットしてください。
●ソケットを適合ランプに最後まで確実に差し込んでください。



注)ランプソケットとランプは組み合わせが決まっています。必ずランプサイズ表示を確認のうえ、確実に差し込んでください。

※適合ランプ以外の使用はできません。

注)ランプホルダーでランプを弾かないようご注意ください。

3.カバーを取付ける
本紙 ⑨ の「カバーを取付ける」の項をご参照ください。

⚠ 警告

ランプは必ず器具表示または本説明書のものを使用してください。表示以外のランプを使用すると火災の原因となります。

ランプの取付けが不完全な場合、落下・不点・接触不良の原因となります。

ご使用上のご注意

●電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
●インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
●インバータ器具の近くで、室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●調光比は約60～70%ですが、室温、器具によって多少変化します。また調光状態になるまでに数秒かかることがあります。
●室温が極端に低い場合、段階調光状態では点灯しないことがあります。100%点灯でご使用ください。
●点灯、消灯時には、若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。
●長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチをONの状態で万が一停電がおこった場合、電源復帰後は自動的に100%点灯(全灯)状態になります。
●器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
●ランプ交換の際、取扱いは交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。
●冬等の周囲温度が低い場合、明るくなるまでに時間が掛かったり、ちらつきが発生することがありますが、異常ではありません。
●天井の材質や構造によっては天井面が変色することがあります。

施工説明

❶ 取付け前の注意事項について

- ロックウール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取付ける場合は、必ず器具の取付金具又は取付バネと天井の間に補強材(鉄板、木片等)をいれてください。
- 天井面の補強材のある位置、吊り木等で補強された野縁、または、これと同等以上の強度、構造を有する場所へ取付けてください。
- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不充分ですと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- 表面に1mm以上の凹凸のある天井は、平らにしてください。凹凸のある天井にそのまま取付けると、光モレ·気密性の低下の原因となります。

❷ (別売リモコン使用時)受信部のチャンネル選択スイッチを確認する

- 別売のタイマー付リモコン(DP-34223)·タイマー付液晶リモコン(DP-35354)が使用できます。
- 照明器具2台を別々にリモコン操作したい場合は、右表のようにスイッチを合わせてください。

選択スイッチ ＼ 器具台数	1台
受信部側	1ch
送信部側	1ch

選択スイッチ ＼ 器具台数	1台目	2台目
受信部側	1ch	2ch
送信部側	1ch	2ch

※受信部と送信部のチャンネルが違っていると、リモコン操作はできません。

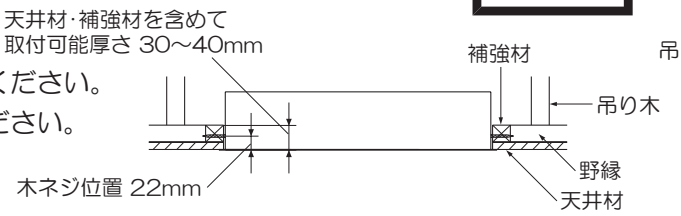
※リモコンの詳細は別紙「取扱説明書」をご覧ください。

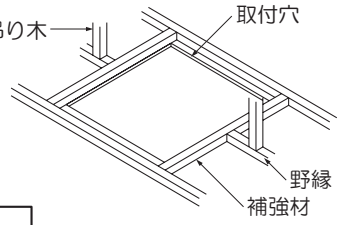
❸ 天井面を確認する

- 天井の埋込穴が□450±2mmか確認してください。
- 天井の器具取付面の厚さが30～40mmか確認してください。

＜補強例＞

- 取付穴周囲に補強材を渡してください。
- 野縁は補強材まで延ばしてください。
- 吊り木で吊ってください。





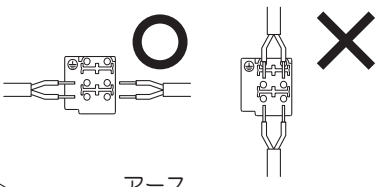
⚠ 警 告

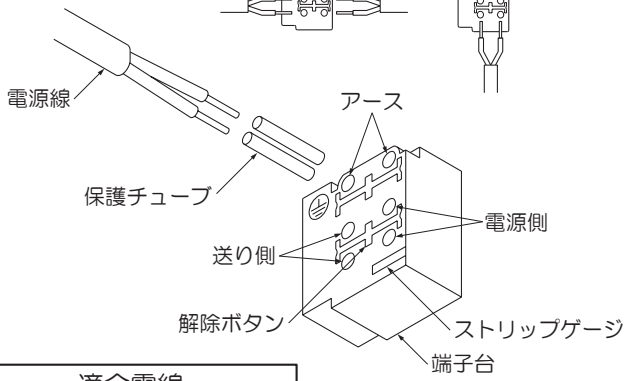
指定の取付可能天井厚·埋込穴寸法以外の天井には使用しないでください。落下の原因となります。

❹ 電源を接続する

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 適合電線を使用し、ストリップゲージにあわせて段むきしてください。
- 付属の保護チューブ(L=300mm)で保護し、端子台に奥まで確実に差し込んでください。
- 必ずアース線でD種(第三種)接地工事を施してください。

※送り配線をする場合も保護チューブを使用してください。

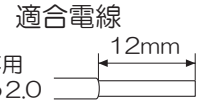




⚠ 警 告

適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。	定格以外の電圧では使用しないでください。火災·感電の原因となります。

適合電線



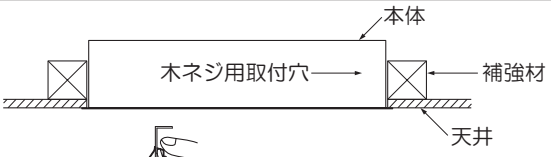
※ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルを使用の場合は、ケーブルの劣化防止の為、ケーブルの端末部付近の絶縁体露出部を黒色テープなどで保護してください。

＜電源線を取り外す場合＞

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

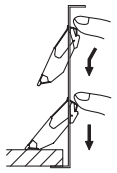
❺ 本体を仮止めする

●本体の木ネジ用取付穴(6ヶ所)のある面を補強材のある方向に向けて取付穴に入れてください。

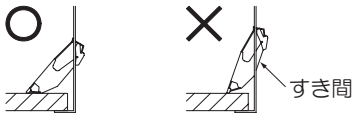


●本体仮止め金具(4個)の背を軽く押しながら引き下ろしてください。

注)仮止め金具は、天井厚さ5mm～40mmの範囲で使用出来ます。

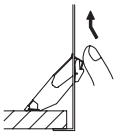


●本体仮止め金具と本体との間にすき間のある場合は確実に取付いていません。再度、本体仮止め金具を引き下ろしてください。



＜本体仮止め金具を外す場合＞

●本体仮止め金具の背を押しながら上へスライドさせてください。

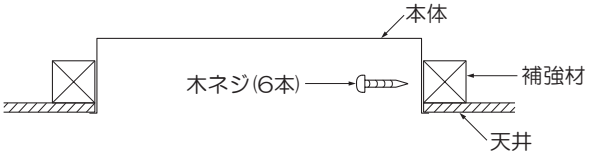


⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

❻ 本体を固定する

●木ネジ(6本)で天井面の補強材に取付けてください。

※必ず木ネジで固定してください。本体仮止め金具だけの取付けですと落下の原因となります。

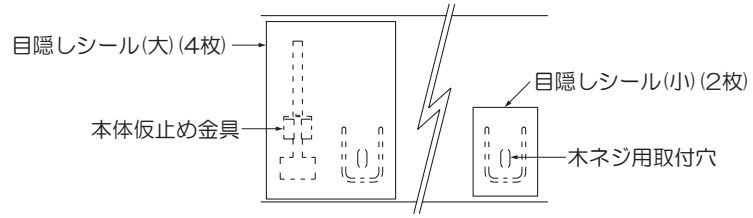


⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

❼ 目隠しシールを貼る

●目隠しシール大(4枚)を図のように本体仮止め金具、木ネジ付近の穴を覆うように貼り付けてください。

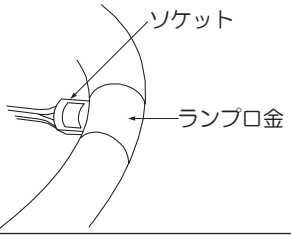
●目隠しシール小(2枚)で、木ネジ用取付穴を覆うように貼り付けてください。



❽ ランプを確認する

●ソケットにランプの口金が確実に接続しているかを確認してください。(ランプをさわる際、ランプ口金は無理に回さないでください。)

●保安球がゆるんでいないかを確認してください。



⚠ 警 告
ランプの取付けが不完全な場合、落下･不点･接触不良の原因となります。

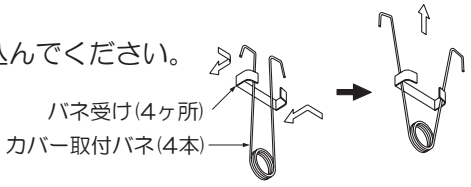
❾ カバーを取付ける

●カバーのひび割れ、欠け等の異常がないか確認のうえ作業してください。

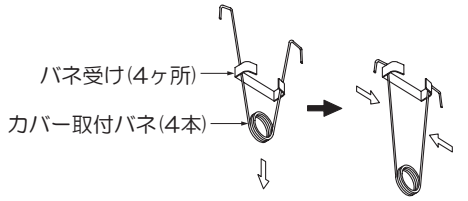
●カバーのカバー取付バネ(4本)を縮めて、本体のバネ受け(4ヶ所)にはめ込んでください。

●カバーを垂直に押し上げ、天井面に密着させてください。

●一度引張ってカバーが確実にはまっているか再度お確かめください。不完全ですと落下の原因となります。



●カバーを外すときはカバーを引き下げて、カバー取付バネ(4本)を縮めて取外してください。



⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

❿ 使用前に確認する

●取付状態･点灯状態を確認してください。